

主食用米次期作支援について

<市長コメント>

令和3年産米の概算金が大幅に下落し、全国的に大きな話題となっておりますが、特に宮城県内の主要銘柄につきましても、業務用への利用が大きいことから、他道県と比較しても、下落率が大きくなっており、県内市町村においても、今回の米価下落対策について、支援策が表明されているところであります。

今般、JAいしのまき管内の東松島市と連携し、次期作支援といたしまして、令和4年産の主食用米の作付面積10アール当たり、4,000円の支援を行うことを12月定例会に追加議案として、提案することを予定しております。

事業の詳細や事業費につきましても現在精査中ではありますが、支援内容の概要といたしましては、令和4年産の作付に必要な種もみや肥料などの経費の一部を補助するというものであります。